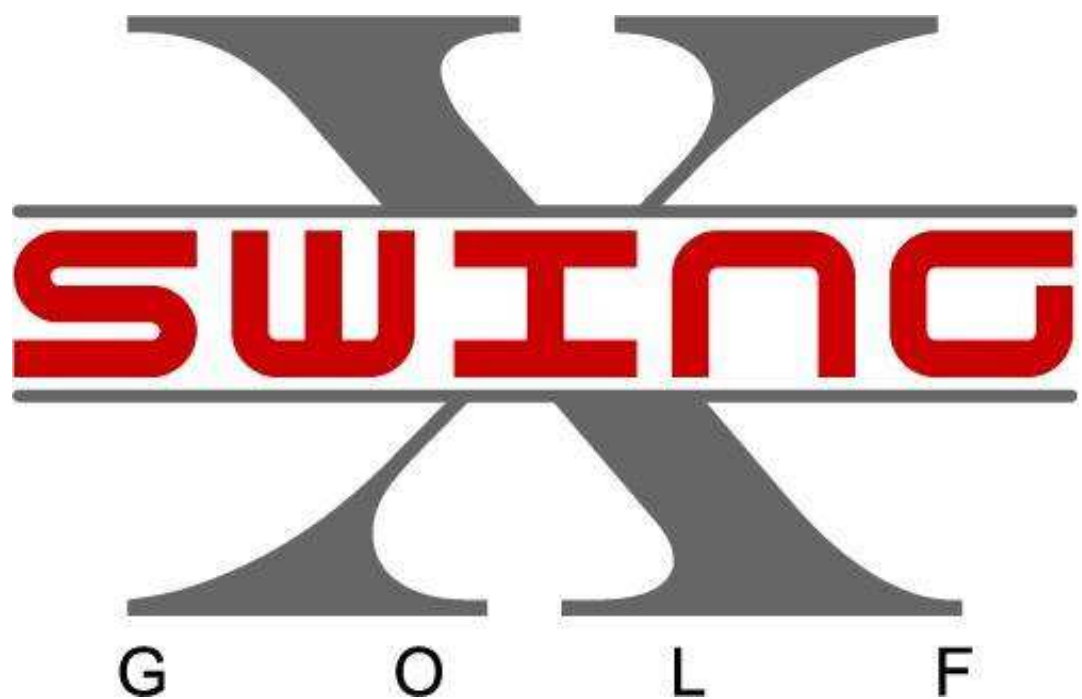




天井センサー 使用者マニュアル



目次

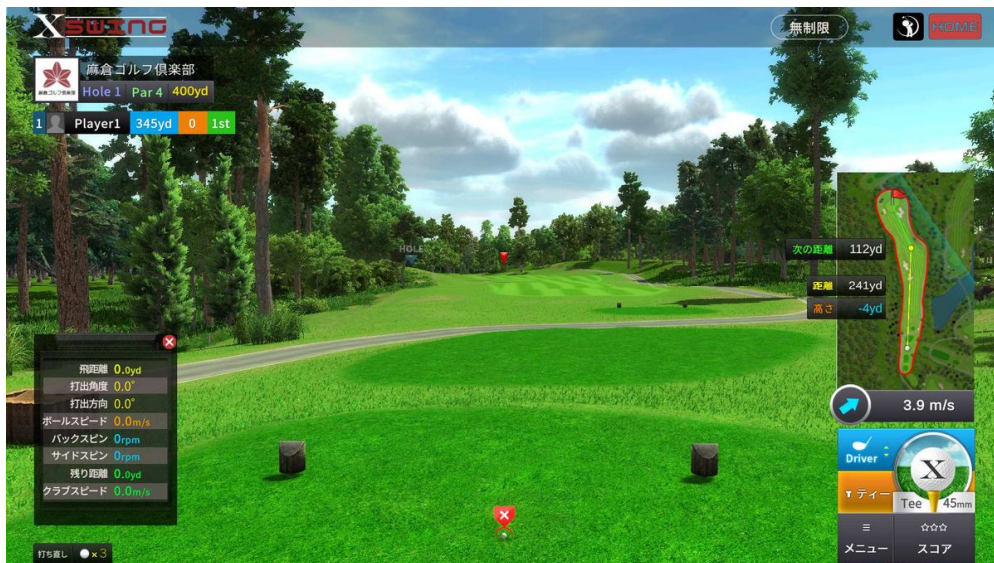
1. 特徴	3
2. 注意事項	4
3. 利用案内-1	
メニュー	5
コースラウンド	6
コースアプローチ	8
ショット練習	10
バンカー練習	11
パター練習	12
ドロー&フェード	13
アプローチ練習	14
ターゲットモード	15
浮島モード	16
設定	17
コース攻略 環境設定	18
練習モード 設定	19
画面表示	20
4. 利用案内-2	
ボール位置調整	21
5. 利用案内-3	
クラブパス	22
6. 利用案内-4 (オプション)	
モーションカメラシステム	23
7. ゲームルール	24

1. 特徴

新しい機能とグラフィックスでアップグレードされたXswing

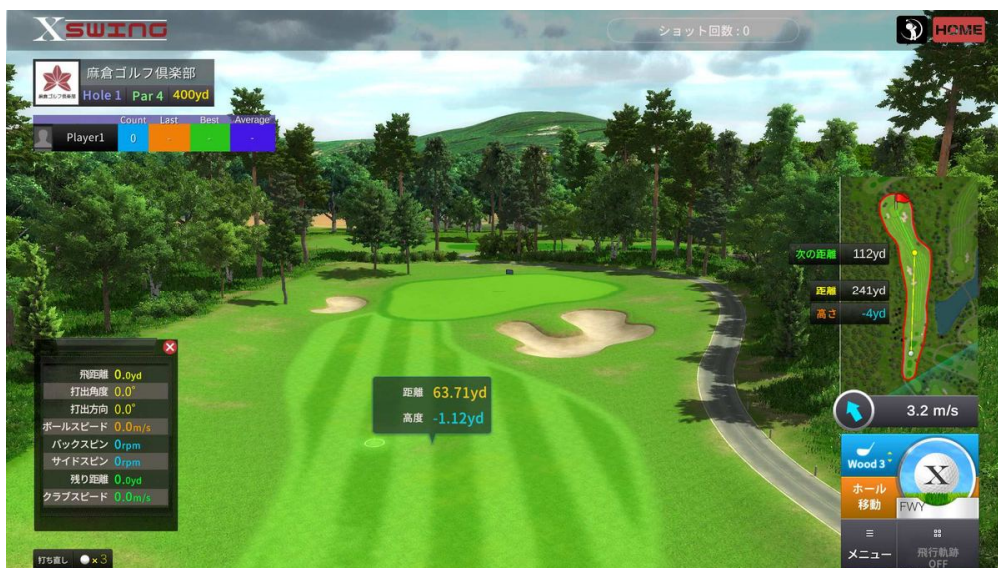
■ ワイドスクリーン (16 : 9)

映画Viewのようにワイド画面で更にフィールド感を高め、実際にフィールドでラウンドしているかのような錯覚を引き起こします。そして映し出される映像はこれまで以上に鮮明になり、よりリアルな3D映像で存分にプレーをお楽しみいただけます。



■ すぐれた3Dレンダリング方式

フィールドの大地を感じることができる3Dレンダリング方式とフル3Dで制作しており、3,000以上の木や芝生を形成し、リアルで広大なゴルフ場の雰囲気再現致します。



実際にゴルフ場を撮影および実測してゴルフコースを製作しております。したがって実際にフィールドでラウンドしているかのような最高のリアリティーをご提供します。

※コースは撮影当時のデータになりますので、改修等により実際のコースと異なる場合もございます。

2. 注意事項



■ 電源



電源コード、プラグコンセントが損傷された状態で使用しないで下さい。
※感電、火事の危険があります。



電源コードを無理に曲げたり、コードの上に重い品物を置かないで下さい。
※感電、火事の危険があります。



電源プラグのピンと接触部分に埃、水などが付かないように注意して下さい。
※感電、火事の危険があります。

■ 一般管理



サービスマン以外は製品を分解、修理、改造は行わないで下さい。
※製品故障及び事故の原因となります。



製品近くに熱器具および煙草の火などを置かないでください。
※火事または製品変形など故障の原因となります。

■ ラウンド



- ・ラウンド前に十分な準備運動を行って下さい。
- ・練習スイングは周りに人や障害物が無いのを確認してラウンドして下さい。
- ・利用者は打席周りに人や障害物が無いのを確認してラウンドして下さい。
- ・スイング時に打席底や周りの障害物を打たないように注意して下さい。
- ・後続者または見物者はラウンド打席より安全な距離を確保して下さい。

※注意事項については、充分ご利用者様に説明をお願いします。

3. 利用案内 - 1

■ メニュー



①ゲームモード	【コースラウンド】	収録されているコースをラウンドします。 ※購入されたパッケージによりコース数が異なります。
	【コースアプローチ】	収録されているコースのピン付近よりアプローチの練習を行います。
	【ショット練習】	ショット練習を行います。
	【バンカー練習】	グリーン周りのバンカーショットの練習を行います。
	【パット練習】	パット練習を行います。
	【ドロー&フェード】	左右から障害物を避けるショットの練習を行います。
	【アプローチ練習】	グリーン周りのショートアプローチ練習を行います。
	【ターゲットモード】	ダーツゲームのゴルフ版でポイントを競います。
	【浮島モード】	浮島にあるグリーンにボールを乗せてポイントを競います。
②コンティニュー	前回の続きからプレーします。	
③設定	各種設定を行います。	
④終了	ゲームを終了します	
⑤スタート	選択したゲームモードをスタートします。	

■ コースラウンド

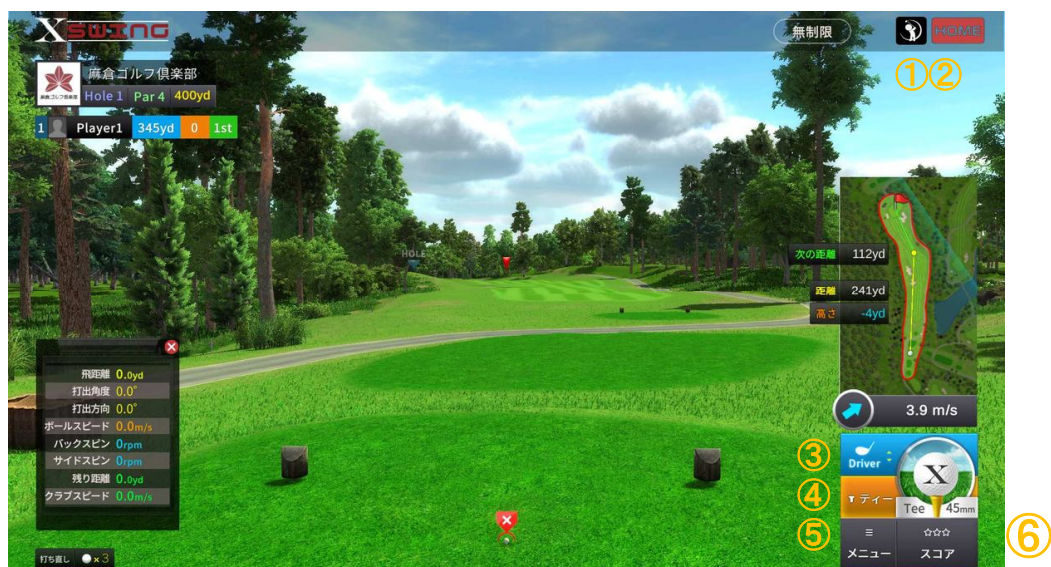


「コースラウンド」をクリックします。



①プレイヤーの 人数と設定	プレイヤーの各種設定及びプレイヤー数を設定します。 プレイヤーを追加する場合、「ゲスト登録」をクリックします。 【プレイヤー名】プレイヤーの名前を入力します。 ※初期値でもプレーが可能です。 【ティー位置】ティーショットの位置を決定します。 「プロ」「チャンピオン」「レギュラー」「レディース」から選択します。 【ティー高さ】ティーの高さを設定します。 ※ティー選択を変更しても表示及び測定に影響は ございません。 【利き手】利き手を設定します。 【削除】入力したデータを削除します。 ※最大4名まで同時プレー出来ます。
②ゴルフ場選択	ゴルフ場を選択します。 ※プレー可能なコースは購入されたパッケージにより異なります。
③ホール選択	②で選択したコースの開始するホールを選択します。

④設定	【打ち直し】 打ち直しのショット数を選択します。 ※1ホールではなく1コースでの回数になります。 ※1ホールで使用出来る回数は1度のみになります。 【グリーン速度】 グリーンスピードを選択します。 【ホールアウト】 自動ホールアウトする打数を選択します。 【コンシード】 カップインの許容範囲を選択します。 【風】 風の選択をします。 【プレート】 オプションのスイングプレートの選択をします。 ※スイングプレートがない場合、「なし」を選択します。
⑤ホール数	プレーするホール数を選択します。 【18H】 18ホールすべてをプレーします。 【OUT9H】 OUTの9ホールのみプレーします。 【IN9H】 INの9ホールのみプレーします。



①モーションリプレー	モーションリプレーカメラシステムを起動します。 ※オプションのモーションリプレーシステムの導入が必要になります。
②HOME	「コースラウンド」を終了し、「メニュー」画面へ戻ります。
③クラブ選択	通常は、推奨クラブが選択されますので、変更する必要はございません。 ※クラブ選択を変更しても測定に影響はございませんが、飛距離調整の設定している場合、クラブにより飛距離が調整されます。
④ティー選択	ティー選択を変更しても表示及び測定に影響はございません。
⑤メニュー	コース攻略の環境を設定します。 ※「コース攻略環境設定」を参照して下さい。
⑥スコア	現在までのスコアを表示します。

※ショットする方向を変える場合、キーボードの「←」「→」キーで調整するか、画面上でマウスをクリックすると表示される「←」「→」で調整します。

■ コースアプローチ

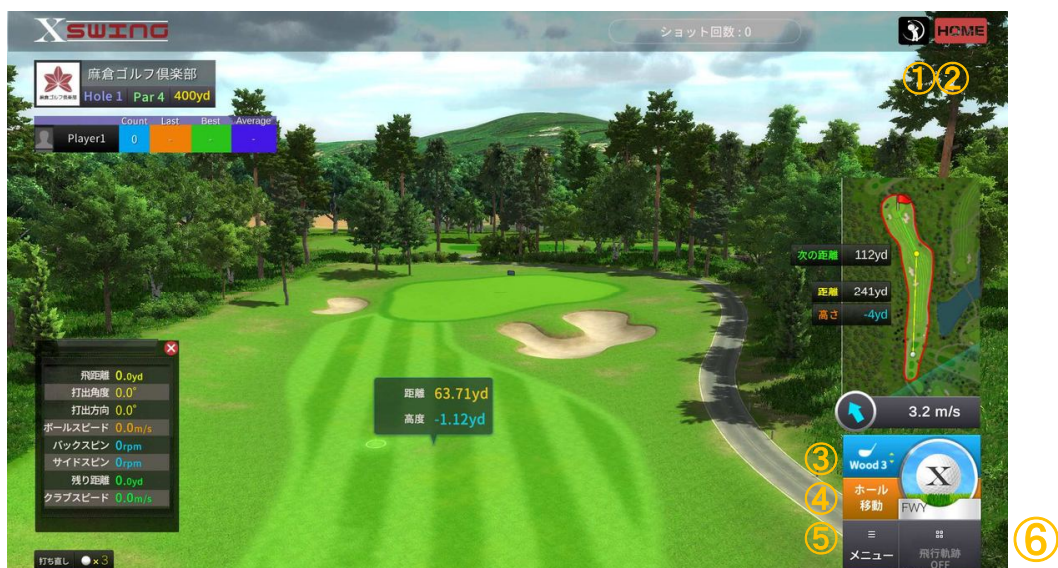


「コースアプローチ」をクリックします。



① プレーヤーの人数と設定	プレーヤーの各種設定します。 【プレーヤー名】 プレーヤーの名前を入力します。 ※初期値でも問題はありません。 【ティー位置】 ティーショットの位置を決定します。 「プロ」「チャンピオン」「レギュラー」「レディース」から選択します。 【ティー高さ】 オートティーの高さを設定します。 ※オートティーを導入していない場合、機能しません。 【利き手】 利き手を設定します。 ※天井センサーでは使用しません。
② ゴルフ場選択	ゴルフ場を選択します。 ※プレー可能なコースは購入されたパッケージにより異なります。
③ ホール選択	②で選択したコースの練習をしたいホールを選択します。

設定が完了しましたら、「スタート」をクリックします。



マウスを動かして練習したい場所で左クリックします。
練習場所を変更したい場合、右クリックで再設定します。
選択画面でマウスの右をクリックすると、ティーグラウンドから練習出来ます。

①モーショントレー	モーショントレーカメラシステムを起動します。 ※オプションのモーショントレーシステムの導入が必要になります。
②HOME	「コースラウンド」を終了し、「メニュー」画面へ戻ります。
③クラブ選択	通常は、推奨クラブが選択されますので、変更する必要はありません。 ※クラブ選択を変更しても測定に影響はございませんが、飛距離調整の設定している場合、クラブにより飛距離が調整されます。
④ホール移動	次のホールへ移動します。
⑤メニュー	コース攻略の環境を設定します。 ※「コース攻略環境設定」を参照して下さい。
⑥飛行軌跡	※コースアプローチでは使用出来ません。

■ ショット練習



「ショット練習」を選択し「スタート」をクリックします。



①SkyTrak傾き	現在の「SkyTrak」の傾き状況を表示します。 ※数値が±1以内になるように調整して下さい。
②モーショントリプレー	モーショントリプレーカメラシステムを起動します。 ※オプションのモーショントリプレーシステムの導入が必要になります。
③利き手選択	利き手を選択します。
④HOME	「ショット練習」を終了し、「メニュー」画面へ戻ります。
⑤クラブ選択	通常は、推奨クラブが選択されますので、変更する必要はありません。 ※クラブ選択を変更しても測定に影響はございませんが、飛距離調整の設定している場合、クラブにより飛距離が調整されます。
⑥目標距離	練習したい距離を設定します。
⑦メニュー	練習モードの設定します。 ※「練習モード設定」を参照して下さい。
⑧ティー選択	オートティーの高さを設定します。 ※オートティーを導入していない場合、機能しません。
⑨飛行軌跡	画面左側に飛行軌跡を表示するか設定します。

■ バンカー練習



「バンカー練習」を選択し「スタート」をクリックします。



①モーショントリプレ	モーショントリプレカメラシステムを起動します。 ※オプションのモーショントリプレシステムの導入が必要になります。
②HOME	「バンカー練習」を終了し、「メニュー」画面へ戻ります。
③クラブ選択	通常は、推奨クラブが選択されますので、変更する必要はありません。 ※クラブ選択を変更しても測定に影響はございませんが、飛距離調整の設定している場合、クラブにより飛距離が調整されます。
④目標距離	練習したい状況を設定します。 【バンカー選択】「低」「中」「高」から選択します。 【ピン位置】「手前」「中央」「奥」から選択します。
⑤メニュー	練習モードの設定します。 ※「練習モード設定」を参照して下さい。
⑥GBK	抵抗値を表示します。 ※-45%の場合、通常100ヤードのショットが65ヤードになります。
⑦飛行軌跡	画面左側に飛行軌跡を表示するか設定します。

■ パット練習



「ショット練習」を選択し「スタート」をクリックします。

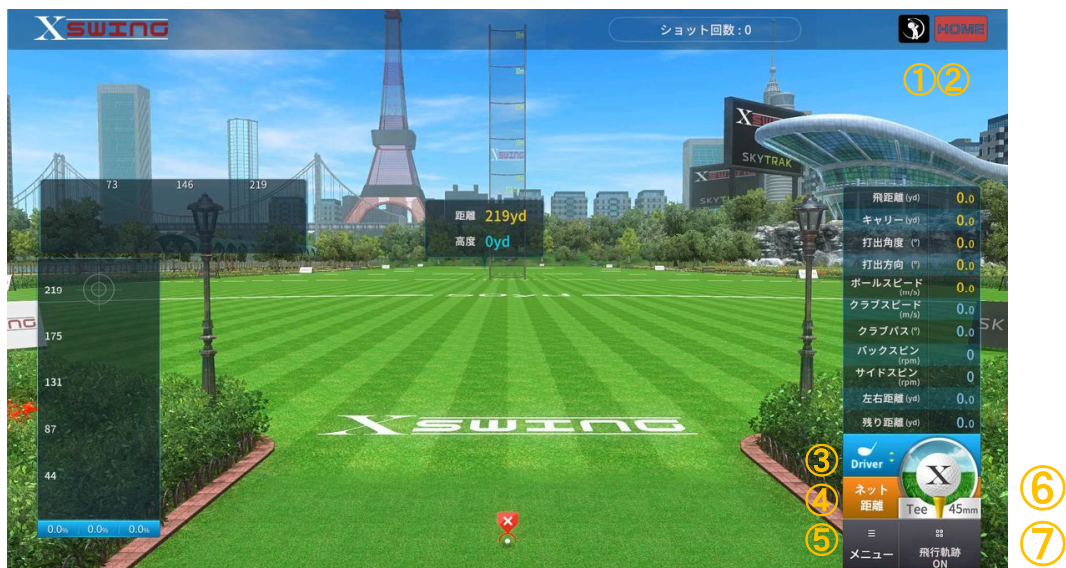


①HOME	「パット練習」を終了し、「メニュー」画面へ戻ります。
②クラブ選択	通常は、推奨クラブが選択されますので、変更する必要はありません。 ※クラブ選択を変更しても測定に影響はございませんが、飛距離調整の設定している場合、クラブにより飛距離が調整されます。
③目標距離	練習したい距離を設定します。
④メニュー	練習モードの設定します。 ※「練習モード設定」を参照して下さい。
⑤飛行軌跡	画面左側に飛行軌跡を表示するか設定します。

■ ドロー&フェード



「ドロー&フェード」を選択し「スタート」をクリックします。

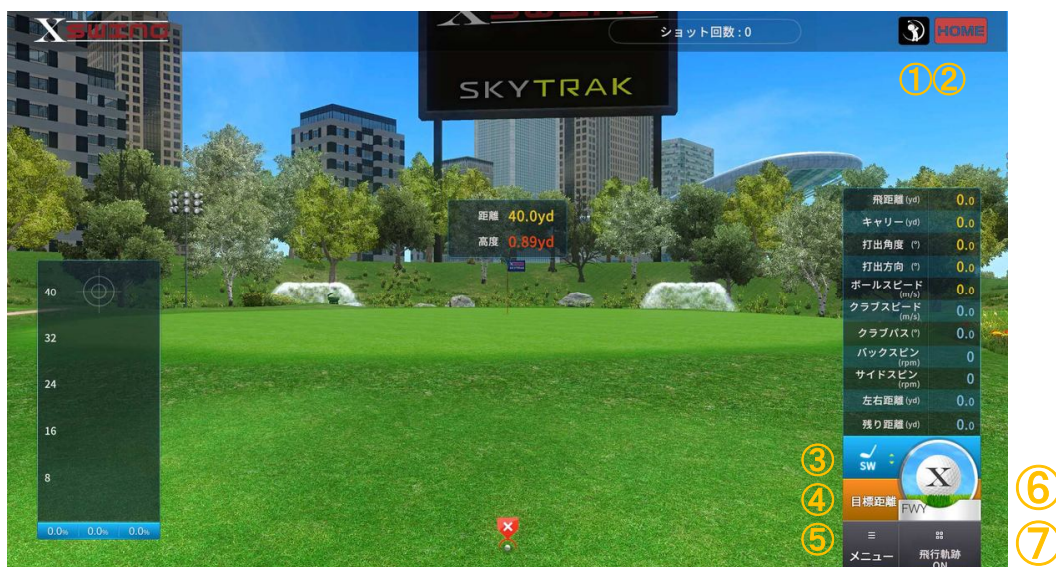


①モーションリプレー	モーションリプレーカメラシステムを起動します。 ※オプションのモーションリプレーシステムの導入が必要になります。
②HOME	「ドロー&フェード」を終了し、「メニュー」画面へ戻ります。
③クラブ選択	通常は、推奨クラブが選択されますので、変更する必要はございません。 ※クラブ選択を変更しても測定に影響はございませんが、飛距離調整の設定している場合、クラブにより飛距離が調整されます。
④ネット距離	中央に設置してあるネットまでの距離を設定します。
⑤メニュー	練習モードの設定します。 ※「練習モード設定」を参照して下さい。
⑥ティー	オートティーの高さを設定します。 ※オートティーを導入していない場合、機能しません。
⑦飛行軌跡	画面左側に飛行軌跡を表示するか設定します。

■ アプローチ練習



「アプローチ練習」を選択し「スタート」をクリックします。



①モーションリプレー	モーションリプレーカメラシステムを起動します。 ※オプションのモーションリプレーシステムの導入が必要になります。
②HOME	「アプローチ練習」を終了し、「メニュー」画面へ戻ります。
③クラブ選択	通常は、推奨クラブが選択されますので、変更する必要はございません。 ※クラブ選択を変更しても測定に影響はございませんが、飛距離調整の設定している場合、クラブにより飛距離が調整されます。
④目標距離	練習したい距離を設定します。
⑤メニュー	練習モードの設定します。 ※「練習モード設定」を参照して下さい。
⑥ティー	オートティーの高さを設定します。 ※オートティーを導入していない場合、機能しません。
⑦飛行軌跡	画面左側に飛行軌跡を表示するか設定します。

■ ターゲットモード



「ターゲットモード」を選択し「スタート」をクリックします。



①モーションリプレー	モーションリプレーカメラシステムを起動します。 ※オプションのモーションリプレーシステムの導入が必要になります。
②HOME	「ターゲットモード」を終了し、「メニュー」画面へ戻ります。
③クラブ選択	通常は、推奨クラブが選択されますので、変更する必要はございません。 ※クラブ選択を変更しても測定に影響はございませんが、飛距離調整の設定している場合、クラブにより飛距離が調整されます。
④目標距離	ターゲットの距離を設定します。
⑤メニュー	練習モードの設定します。 ※「練習モード設定」を参照して下さい。
⑥飛行軌跡	画面左側に飛行軌跡を表示するか設定します。
⑦C o u n t	トータルの打数を表示します。
⑧T o t a l	トータルのポイントを表示します。
⑨L a s t	直前のポイントを表示します。

※ポイントは、ボールの停止した位置により変わります。

■ 浮島モード



「浮島モード」を選択し「スタート」をクリックします。



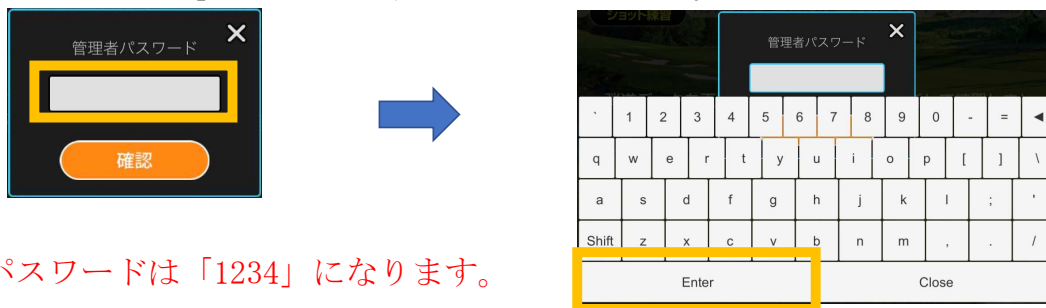
①モーションリプレー	モーションリプレーカメラシステムを起動します。 ※オプションのモーションリプレーシステムの導入が必要になります。
②HOME	「浮島モード」を終了し、「メニュー」画面へ戻ります。
③クラブ選択	通常は、推奨クラブが選択されますので、変更する必要はございません。 ※クラブ選択を変更しても測定に影響はございませんが、飛距離調整の設定している場合、クラブにより飛距離が調整されます。
④目標距離	浮島の距離を設定します。
⑤メニュー	練習モードの設定します。 ※「練習モード設定」を参照して下さい。
⑥飛行軌跡	画面左側に飛行軌跡を表示するか設定します。
⑦C o u n t	トータルの打数を表示します。
⑧T o t a l	トータルのポイントを表示します。
⑨L a s t	直前のポイントを表示します。

※ポイントは、ボールの停止した位置により変わります。

■ 設定

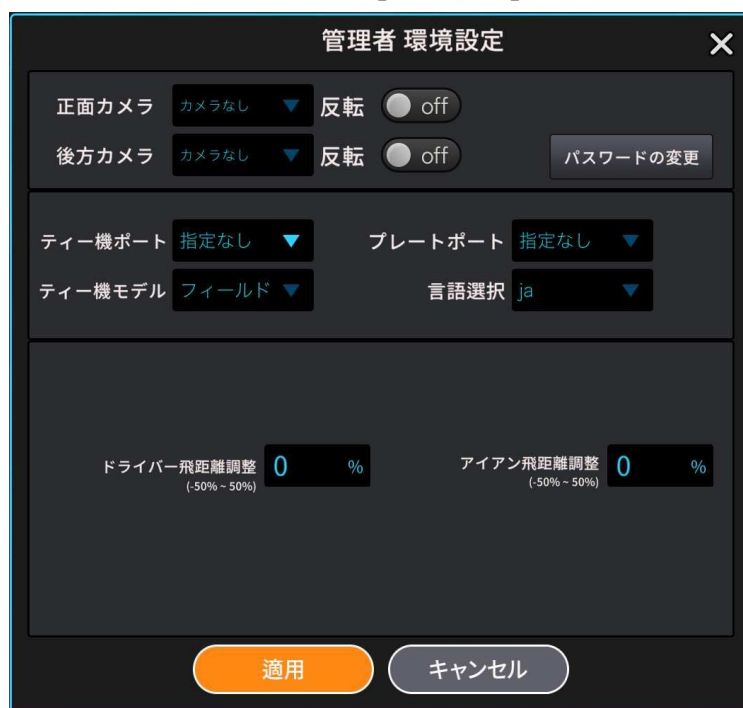
メニュー画面より「設定」をクリックします。

「管理者パスワード」下の入力部分をクリックします。



※パスワードは「1234」になります。

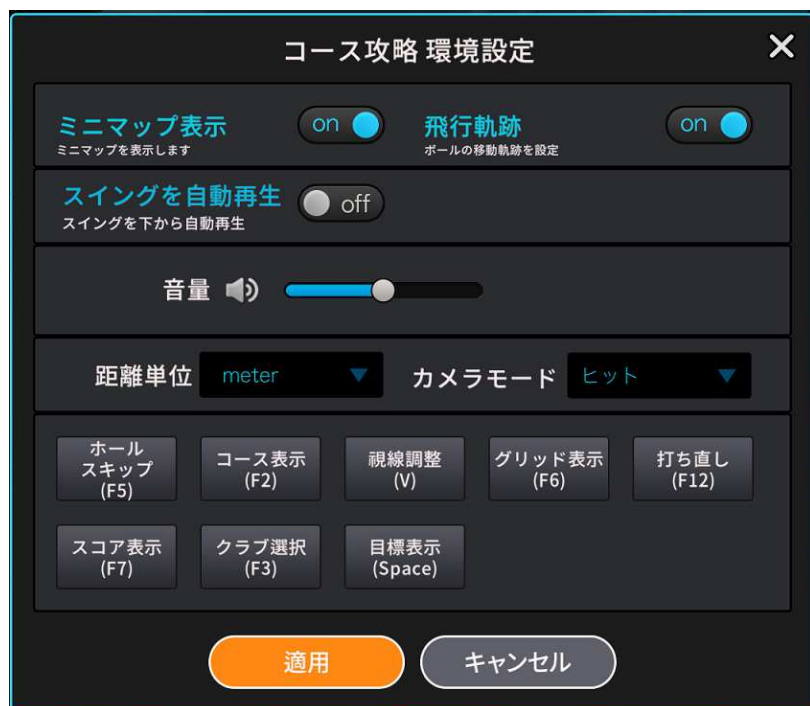
パスワードの入力が終わりましたら「Enter」「確認」の順にをクリックします。



①正面カメラ	正面に設置してあるカメラを選択します。
②反転	画像を反転表示する場合、「ON」にします。
③後方カメラ	動画の再生スピードを選択します。
④反転	画像を反転表示する場合、「ON」にします。
※①～④	オプションのモーションリプレイシステムの導入が必要になります。
⑤パスワード変更	「設定」を開く為のパスワードを変更します。
⑥ティー機ポート	オートティーが接続されているポートを選択します。
⑦ティー機モデル	接続されているオートティーのモデル名を選択します。
※⑥、⑦	オプションのオートティーの導入が必要になります。
⑧プレートポート	スイングプレートが接続されているポートを選択します。 ※オプションのスイングプレートの導入が必要になります。
⑨言語	表示される言語を設定します。
⑩ドライバー飛距離調整	ドライバー選択時の飛距離を調整します。
⑪アイアン飛距離調整	アイアン選択時の飛距離を調整します。
※⑩、⑪	※110%の場合、通常100ヤードのショットが110ヤードの表示になります。

設定が完了しましたら、「適用」をクリックします。

■ コース攻略環境設定



①ミニマップ表示	画面右側にミニマップを表示するか設定します。
②飛行軌跡	画面左側に飛行軌跡を表示するか設定します。
③スイングを自動再生	ショット後にスイング動画を表示するか設定します。
④音量	音量を設定します。
⑤距離単位	表示される距離単位を設定します。 【meter】 【yard】 から選択します。
⑥カメラモード	ショット後のボールの表示方法を設定します。 【ヒット】 ショットした位置からボールの軌跡を表示し、最後に停止した位置を表示します。 【バーディー】 ショットしたボールを追いかけて表示します。 【ダイナミック】 ショットした位置からボールの軌跡を表示します。
⑦ホールスキップ (F5)	現在プレイしているホールをスキップします。 ※スコアは、「ダブルパー」となります。
⑧コース表示 (F2)	コース全体をスクロールしながら表示します。
⑨視線調整 (V)	コース全体をスクロールしながら表示します。
⑩グリッド表示 (F6)	クリックした後に↑を押すと少し上からコースを見渡せます。
⑪打ち直し (F12)	直前のショットを打ち直します。 ※マリガン表示を1つ消費します。 ※「0」の場合打ち直しは出来ません。 ※1ホールで使用出来る回数は1度のみとなります。
⑫スコア表示 (F7)	現在のスコアを表示します。
⑬クラブ選択 (F3)	推奨クラブが選択されますので、変更する必要はございません。 クラブ選択を変更した場合、ミニマップに表示される距離が変わります。 ※クラブ選択を変更しても測定に影響はございませんが、飛距離調整の設定している場合、クラブにより飛距離が調整されます。
⑭目標表示 (Space)	選択されたクラブで予想される着地点を表示します。

※⑧～⑭に関しましては、キー入力が可能です。

■ 練習モード設定

練習モード 設定

スイングを自動再生 ☐ off
スイングを下から自動再生

鏡でスイングを再生 ☐ off
スイングを鏡で下から再生

飛行軌跡 ☒ on
ボールの移動軌跡を設定

ティー 45mm ▼

グリーン 通常 ▼

カメラモード バーディー ▼

再生速度 x1.0 ▼

音量

距離単位 meter ▼

ドライバー飛距離調整 0 % (-50% ~ 50%)

アイアン飛距離調整 0 % (-50% ~ 50%)

適用 キャンセル

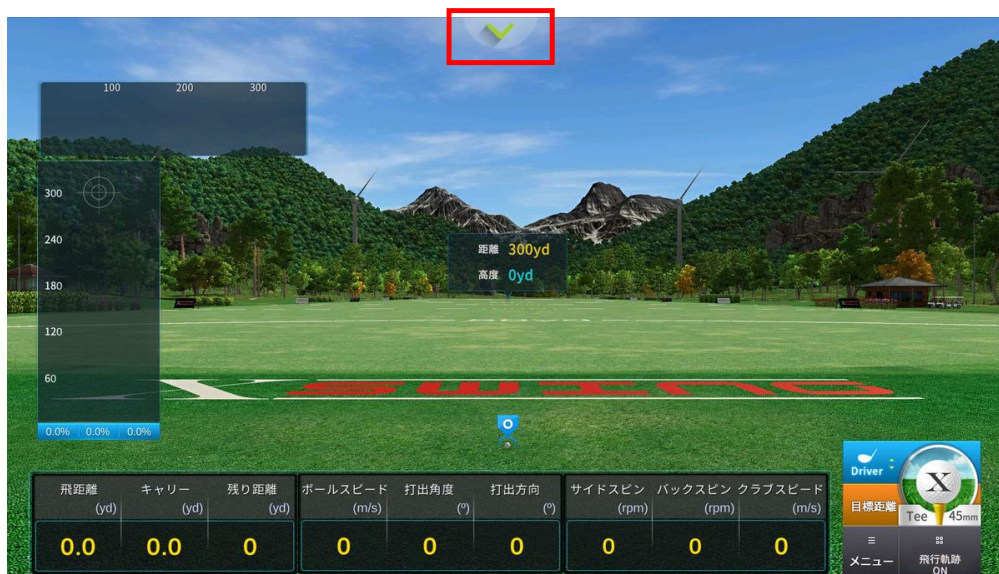
①スイングを自動再生	ショット後にスイングのリプレー表示をするか設定します。 ※オプションのモーションリプレーシステムの導入が必要になります。
②鏡でスイングを再生	カメラを起動し、スイングをチェックします。 ※カメラを個別に反転表示させることも可能です。
⑨飛行軌跡	画面左側に表示される飛行軌跡の表示設定をします。
④ティー	ティー選択を変更しても表示及び測定に影響はございません。
⑤グリーン	グリーンスピードを選択します。 【速い】 【少し速い】 【通常】 【少し遅い】 【遅い】 から選択します。
⑥カメラモード	ショット後のボールの表示方法を設定します。 【ヒット】 ショットした位置からボールの軌跡を表示し、最後に停止した位置を表示します。 【バーディー】 ショットしたボールを追いかけて表示します。 【ダイナミック】 ショットした位置からボールの軌跡を表示します。
⑦再生速度	ショット後にスイングのリプレー表示をする速度を設定します。 ※オプションのモーションリプレーシステムの導入が必要になります。
⑧音量	音量を設定します。
⑨距離単位	表示される距離単位を設定します。 【meter】 【yard】 から選択します。
⑩ドライバー飛距離調整	ドライバーの飛距離を調整します。 (-50%~50%) ※150%に設定した場合、実際の測定値の50%増しになります。 ※例) 実際の測定値が100ヤードの場合、150ヤードの表示となります。 ※調整は、飛距離のみとなりますので、スピン値等の調整は行いません。
⑪アイアン飛距離調整	アイアンの飛距離を調整します。 (-50%~50%) ※150%に設定した場合、実際の測定値の50%増しになります。 ※例) 実際の測定値が100ヤードの場合、150ヤードの表示となります。 ※調整は、飛距離のみとなりますので、スピン値等の調整は行いません。

設定が完了しましたら、「適用」をクリックします。

■ 画面表示



各モード共通で、画面上部をクリックするとロゴ等の上部表示が隠れます。



再度表示させたい場合、画面上部の  をクリックすると再表示されます。

4. 利用案内 - 2

■ ボール位置調整

「ショット練習」を選択し「スタート」をクリックします。



キーボードの「Shift」 + 「Ctrl」を押しながら「←」 or 「→」をクリックし、ボールの表示位置を移動させます。



キーボードの「Shift」 + 「Ctrl」 + 「S」を押して記憶させます。

5. 利用案内 - 3

■ クラブパス



ショット後にクラブパスの画像が表示されますので、表示が消えたら「クラブパス」ボタンをクリックします。



①画像調整	画像の大きさを調整します。
②コマンド	動画に対する指示を行います。

6. 利用案内 - 4

■ モーションカメラシステム (オプション)

※オプションのモーションカメラシステムの導入が必要になります。



ショット後にスイングのリプレー画像が表示されますので、表示が消えたら「モーションリプレー」ボタンをクリックします。



①リプレー画像	直前の動画が表示されます。(1画面or2画面)
②再生スピード	動画の再生スピードを選択します。
③コマンド	動画に対する指示を行います。
④ドローツール	動画に加工を施します。
⑤修正	描画したラインの修正を行う場合、 ☒ を入れます。
⑥S i z e	ドローツールで使用する線の太さを設定します。
⑦C o l e r	ドローツールで使用する線の色を設定します。
⑧戻る	ドローツールでの直前の作業を元に戻します。
⑨進む	戻るボタンで戻した作業を復活させます。
⑩削除	ドローツールで作業した内容を削除します。
⑪保存	画像を保存します。

7. ゲームルール

■ ショット順番

スタートホールのティーショットは「プレイヤー1」からとなり、2ホール目以降のティーショットは前ホールでスコアの良いプレイヤーから先に打ちます。

■ ホールアウト

ボールがカップインするかコンシードの範囲に入った場合と自動ホールアウト数を超えた場合ホールアウトになります。

■ コンシード (Conccede)

カップまでの残り距離が設定された範囲に入れば (+1) でカップインになります。

- ・ボギー (Bogey) → パーよりも1打多く叩くこと。
- ・ダブルボギー (Double Bogey) → パーよりも2打多く叩くこと。
- ・ダブルパー (Double Par) → そのホールのパーの2倍叩くこと。
- ・パー (Par) → ホールの規定打数でホールアウトすること。

※デフォルトの設定はダブルパーになります。

■ O B

ラウンド可能地域とウォーターハザード地域以外はOB地域となり、この地域にボールが落ちた場合1打罰を受けてもう一度打ち直しになります。



■ ウォーターハザード (WATER HAZARD)

ボールがこの地域に落ちた場合1打罰を受けて池に入る前の位置にボールを置いて競技を続行します。

